



**田平 幸音 (39)**  
Zakkashop 春\*春 店主  
愛媛県今治市出身。結婚を機に旦那さんの実家である安芸高田市にTターン（嫁ぎターン）。一男一女の母。子供は野生児ながら自然の中で外遊びばかりして育った。子育てがひと段落した頃からワイヤークラフトを始め、イベント出店を重ねる内に店を構えるに至った。



## Zakkashop 春\*春

<http://zakkaharuharu.wix.com/haru2>

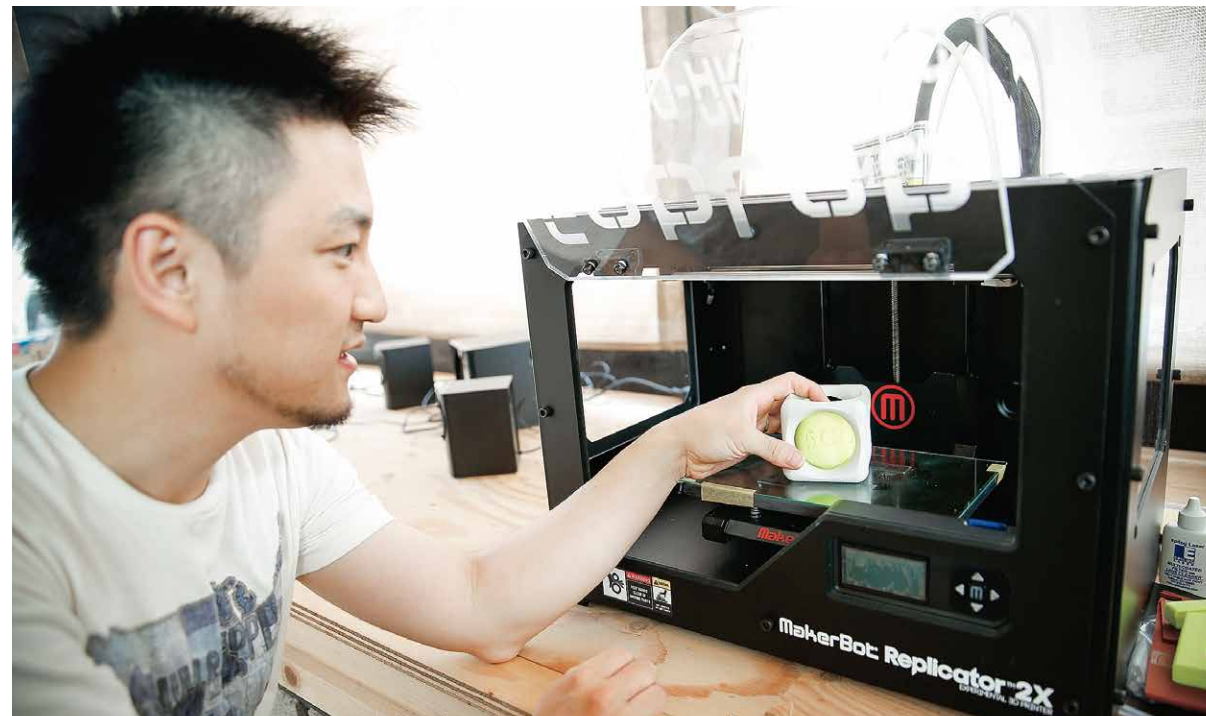
ワイヤークラフト作家の田平さん、自宅でのガレージセールが新聞で取り上げられた際に「ウチでも何かできないか？」と突然連絡があった。訪ねてみたのは旧城下町の一角。味のある古い納屋が目にとまり、借りてお店を開くこととなった。それから5か月かけてセルフリフォームを行った。廃材を利用したので総工費はなんと約20万円ほどで済んだという。

作り手の仲間たちに出品を呼びかけ、地域のクラフト雑貨を扱う店として、2013年3月にオープンした。

主婦業の合間を縫って、週3日間だけオープンするという無理ないスタイルを築いている。が、その内1日は作家を招いた「Workshop」を行い、モノ作りを通じた交流の拠点になるよう心掛けている。現在は作家数も50名ほどに増え、ネットショップを開設するなど、徐々にその輪をひろげている。

手芸・工芸など腕に覚えのある方やその道を志す方々には心強い味方になってくれるに違いない。

●Zakkashop 春\*春  
安芸高田市吉田町吉田740-1  
☎080-19906-5417  
営業11時～17時(火水土のみ)



**渡辺洋一郎 (34)**  
鳥取県出身。第一子の誕生に伴い、2013年妻の実家へYターン（嫁ターン）。自動車メーカーのエンジニアとして働く傍らFablabを立ち上げ、運営に当たっている。地域に根付いたムーブメントとなるよう地元密着型のイベントを画策している。



## Fablab Akitakata

<http://www.fablabhiroshima.com>

「自分のビジネスを作りたい人と一緒にモノ作りをしたり、そういう人々をつなぐエム（Hub）になりたい」と話す渡辺さん。子供・市民個人事業主・企業など、モノづくりをキーワードに人がつながる場を作るため、日々挑戦が続く。

広島県内で唯一のFablabは、モノづくりに関心がある移住者の拠り所となる頼もしい存在だ。

「自分のビジネスを作りたい人と一緒にモノ作りをしたり、そういう人々をつなぐエム（Hub）になりたい」と話す渡辺さん。子供・市民個人事業主・企業など、モノづくりをキーワードに人がつながる場を作るため、日々挑戦が続く。

Fablab（ファブラボ）とは、3Dプリンタやレーザーカッターなどの工作機械を備えたオープンな工房と、その世界的なネットワークのことで、世界60か国、300箇所以上に広がっている。生活者が「受け身の消費者」から「自ら考える作り手」へ成長することを促し、アイデアをカタチにしてイノベーションを興すための次世代のインフラだ。

2014年12月、安芸高田市にFablabが誕生し、現在、講習を受けた会員が20名いる。ここを立ち上げたのが移住者の渡辺さん。

「地域と連携したモノづくりの新しいムーブメントを興したい」と私費を投じて機器を揃え、工房を構えた。パソコン上でデータを作成すれば、あとはデジタル機材がオリジナル品やビジネスの試作品などを作ってくれる。